

日本建築学会近畿支部建築史部会 × 日本木材学会木質文化財研究会 共催

歴史的建造物の自然科学分析 における学際研究の接点を探る

発表 横山 操 (京都大学)

「歴史的建造物における用材の樹種識別」

星野安浩 (奈良文化財研究所)

「歴史的建造物における年輪年代学の応用」

コメント 山岸常人 (京都府立大学)

司会 高妻洋成・鈴木智大 (奈良文化財研究所)

近年、歴史的建造物における自然科学的な分析が増えている。多くのデータが蓄積される一方で、そのデータが建築史学にどのような意義をもつのか、十分な議論が尽くされているとはいえない。本会では、木質文化財を研究対象とされる気鋭の研究者による、自然科学分析にもとづく研究に関する発表を踏まえ、自然科学分析、建築史学、文化財建造物修理の立場を越えて、課題と展望を議論したい。

主催 日本建築学会近畿支部建築史部会 × 日本木材学会木質文化財研究会

<http://kinki.aij.or.jp/activity/history/index.html>

日時 2019年3月9日(土) 13:30-17:00

会場 大阪科学技術センター B102号室 大阪市西区靱本町1-8-4 ■大阪方面・なんば方面より
地下鉄四つ橋線本町駅下車 28号出口より北へ徒歩5分

参加費 無料

お申込み 必要 (2月22日までに下記メールアドレスへご連絡ください)

懇親会 研究会後、会場近辺にて開催 (予算5,000円程度)

参加ご希望の方は、あわせてご連絡ください。

お問い合わせ 鈴木智大 (奈良文化財研究所)

e-mail tomohiro@nabunken.go.jp

